

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
ディグ・スマイル前橋東教室		2025 年 10 月 1 日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7		活動のスペースを分けたり、児童館などを活用している。	座席によっては児童同士の距離が近くなってしまうことがある
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	7		人員配置に配慮した支援を心かけている	利用定員10名を超える日がある
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	1	トイレには手すりがあり、視覚的支援も行った環境構成を心かけている	玄関に段差があり、車いす等での出入りが困難なため、必要に応じてスロープなどが必要となる
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7		毎日の清掃活動を徹底している	学習室と活動スペースが一緒のため、仕切りを行うか検討している
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7		ロッカー室や相談室など扉を閉めて個別対応できる	職員数の関係で実用に至らない場合もある
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7		朝会などで取り組んでいる	各自、意識を高めていく必要がある
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		保護者からの要望や意見を取り入れながら業務改善に努めている	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		毎日の朝会で取り組んでいる	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	4		第三者評価は実施していないが、内部監査を実施している
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7		定期的な研修が組まれている	継続性がある研修があってもよいと感じる
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7		5領域に即したプログラムを実施しており、カレンダー等で公表している	職員によって習熟度に差があるため、自己研鑽が必要
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7		アセスメント内容や日々の様子から利用者に合わせて費になっている	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	1	職員間で認識のすり合わせを行い、共通理解に努めている	

適切な支援の提供	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7		支援前に確認する機会を設けるようにしている	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6		日々の行動観察など職員間で情報共有を行っている	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	1	個別支援計画内に記載しており、必要に応じて取り組んでいる	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7		個人で立案したものをチームで検討したり、チームで立案・検討を行ったりと、職員が広く携われるよう工夫している	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7		プログラム内容に連続性を持たせたり、発展させたりすることで固定化しないように工夫している	前月に取り組んだ内容が短いスパンで組み込まれていることがあるため、幅広い内容に触れられるよう改善が必要に感じる
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7		個別と集団の活動をそれぞれ確保しており、集団が苦手な利用者に対しては、空間共有などで孤立しないよう努めている	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7		毎朝の朝会で確認し、非常勤の先生にも都度周知している	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7		翌日の朝会時に振り返りを行っている	当日の振り返り時間を設けられるよう、社内で枠組み作りが進んでいる
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7		記録を詳細に残すことで全職員が共有できるよう努めている	記載漏れ等があるため、記録に対する意識を高めていく必要がある
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7		随時行い、活かしていけるよう努めている	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	7		適宜行えるよう努めており、必要に応じて個別に対応す留こともある	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7		視覚的支援も取り入れながら、自己選択ができるよう努めている	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7		適切に対応し、支援に活かすよう努めている	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	1	必要に応じて参加している	

関係機関や保護者との連携	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7		送迎時などで情報共有を行っている	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6	1	必要に応じて行っている	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6	1	必要に応じて行っている	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	2	必要に応じて行っていく	積極的に取り組んでいきたい
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	6	1	地域の児童館などで一緒に活動することがある	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	2	4	必要に応じて行っていく	積極的に取り組んでいきたい
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	1	普段は送迎時に伝達を行っており、必要に応じて個別面談の機会を設けている	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6		必要に応じて取り組んでいく	
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7		契約時に行っている	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7		取り組むよう努めている	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7		更新時には説明を行い、同意を得られている	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7		必要に応じて対応しており、定期的な面談予定も組んでいる	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	1	5	納涼祭など家族等の参加ができるイベントを開催しており、また、いつでも見学受け入れの準備がある	保護者会の開催はないため、オンラインなども活用できると良いと思う
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7		迅速に対応するよう努めている	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7		カレンダーや教室通信などを配布している	

	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7		定期的な注意喚起を行い、書類等に関しては、鍵付きキャビネットでの保管を徹底している	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7		視覚的支援も取り入れながら、個々の特性に合わせた伝え方に配慮して行っている	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	5	納涼祭など家族等の参加ができるイベントを開催しており、また、いつでも見学受け入れの準備がある	積極的に行っていききたい
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7		マニュアルの周知、定期的な訓練を実施している	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7		定期的な見直しを行い、全職員へ周知を行っている	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7		契約時や通院時などに情報共有いただき、職員間でも共有している	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7		現状、対応すべき児童はいないが、事前に調査を行い、アレルギーについては最善の注意を払っている	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7		安全計画を事務所内に掲示し、いつでも確認できるようにしている	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6		閲覧ファイルに保管されている	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7		回覧を行い、再発防止や未然に防ぐための検討機会を設けている	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7		定期的な研修機会があり、職員間で話し合いの時間も設けている	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7		保護者や利用者には契約時に説明をと同意を行い、職員の意識が薄れないように定期的に委員会に参加と、支援の振り返りを行っている	